

福知山FM放送 第37回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成26年3月25日(火) 午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名
出席委員数 4名
出席委員の氏名 松田 規 委員
香月 芳雄 委員
藤田 佳宏 委員
藤原 公子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫
局長補佐 水寫孝彦

4. 議題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・6周年記念特別企画「6歳の夢」

6周年を記念し、放送局の誕生と同じ頃に生まれた6歳の子供たちに夢を聞かせてもらい番組で随時放送。マガジンに写真を掲載するなどの連動企画とした。

・「はるかぜサイクリング」司会 番組中継

中丹広域振興局主催「はるかぜサイクリング」。京都府の海の京都事業の一環。司会と番組中継を行った。

2) 放送番組全般に対するご意見

松田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 市の26年度予算案で防災ラジオの導入が盛り込まれており、防災機関としての役割もより大きくなることと思われるがどうか。

(事務局) 今回防災ラジオについて1,000台の導入を予定されているということで、導入されれば我々の役割も責任も大きくなる。導入されて終わりではなく始まりであり、どのように活用していくかが問題となる。ソフト面について、災害時、実際放送局に入ってくる情報は少なく、避難情報のみを延々と伝えるだけでは意味が無い。細かな情報も入ってくるような仕組みづくりが必要。

(委員) 番組の合い間に音楽だけの時間帯があるが、その時間になるとチャンネルを変えてしまい、変えたままにしてしまうという方も多いのではないかと。またFM丹波ではワンマンのパーソナリティ形式が基本だが他の局での2人形式の番組などは、声が変わるので比較的落ち着いて聴けると感じるのだが。

(事務局) 音楽だけの時間帯については局の体制の兼ね合いでそうせざるを得ないところではあるが、時間によってターゲットも変えているのでそれほど影響はないかなと考えている。ワンマン形式についても今の体制上やむをえないが電話中継やゲストで来て頂くなど対話形式をなるべく多く取り入れるようにしている。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、平成26年5月27日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。

松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第37回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成26年 4月20日

ホームページに掲載 平成26年 6月 1日

9. その他